

## [評価]

A：達成されている／適合している　B：ほぼ達成されている／ほぼ適合している　C：達成に向けて努力している  
D：取り組みを検討中　E：未達成／適合していない

## 教育理念：

【言葉は未来を拓く】を根幹に、多様な学習者が尊重し合い成長できる「血の通った教育の場」を実現します。

1 教育理念・目標等	評価
1 1-1 教育理念は定められているか	A
2 1-2 教育目標は定められているか	A
3 1-3 学校の特色は何か	A
4 1-4 教育理念・目標に基づく教育が行われているか	B

## 《現状・具体的な取り組み／課題》

【言葉は未来を拓く】を建学の精神とし、多様な背景をもつ学習者が互いに尊重し合いながら成長できる「血の通った教育の場」の実現を教育理念として掲げている。この理念のもと、「日本語教育を通じて日本と世界をつなぎ、主体的に未来を切り拓く力を備えた人材育成」を教育目標として設定している。

本校の特色は、多国籍の学生が共に学ぶ国際的な教育環境の中で、日本語能力の向上だけでなく、進学・就職・社会参加までを見据えた総合的な支援を行っている点にある。担任を中心とした個別面談や生活指導、進路指導を継続的に実施し、学生一人ひとりの目標や状況に応じたきめ細かな支援を行っている。

現在、教職員は多様化する学生のニーズに対応するため、授業改善、学生支援体制の強化、進路指導の充実に継続して取り組んでいる。今後は、認定日本語教育機関制度の趣旨を踏まえ、教育の質保証体制のさらなる充実と学習成果の可視化に取り組むことを課題としている。

2 学校運営	評価
5 2-1 運営方針は定められているか	A
6 2-2 事業計画は定められているか	A
7 2-3 運営組織や意志決定機能は確立され、効率的なものになっているか	A
8 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	B
9 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	A
10 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	A
11 2-7 危機管理体制は整備されているか	A
12 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう 学校教育法に基づき整備されているか	A

## 《現状・具体的な取り組み／課題》

多国籍の学生がもつ多様な学習目的・生活背景に対応するため、法人の理事会および評議員会による客観的な運営評価を受けながら、継続的に学校運営を改善している。理事会・評議員会で承認された事業計画に基づき、日々の状況に即した柔軟かつ細やかな運営を行っている。

教職員と学生をつなぐ情報共有基盤として Google Classroom を活用し、平常時の連絡体制の効率化に加え、有事の際にも迅速な情報伝達が可能な体制を整えている。また、学校設備については日常的な点検を実施し、安全性と学習環境の維持に努めている。さらに、学生情報や運営記録を蓄積するデータベースシステムについても、定期的な見直しと改善を行い、運営の透明性と効率性の向上を図っている。

3 教職員		評価
1 3	3-1 教育理念・目標が教職員間で共有されているか	A
1 4	3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	A
1 5	3-3 教職員評価を行っているか	C

《現状・具体的な取り組み／課題》

教職員間の共通理解と教育の質向上を目的として、毎月一回の講師会を実施している。また、教育内容の改善や授業運営の課題解決を図るため分科会を設置し、テーマ別に議論・検討を進めている。必要に応じて個別の勉強会も実施し、教員の専門性向上に努めている。教員評価については、教務主任および事務局長が授業運営や校務遂行の状況を確認し、評価を行っている。一方で、評価結果を踏まえた個別面談は現時点では実施できていない。職員評価については、事務局長が職員と面談を行い、業務状況の振り返りと次期目標の設定を行うことで、業務改善と能力向上につなげている。

4 教育活動		評価
1 6	4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	A
1 7	4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	C
1 8	4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	B
1 9	4-4 成績評価は適切に行われているか	B
2 0	4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	A

《現状・具体的な取り組み／課題》

体系的に編成されたカリキュラムに基づき、教育目標に沿った授業運営を行っている。教員は必要な資質・要件を備え、授業準備・教材研究・学生対応を適切に実施しており、授業の質の維持に努めている。成績評価については、評価基準に基づき、出席・課題・試験等を総合的に判断し、適切な評価を行っている。また、各種日本語試験の認定率向上に向けて、受験指導や学習相談を実施し、学生の学習支援に取り組んでいる。一方、授業評価（学生による授業アンケート）については、コロナ禍を契機に一時停止しており、現在は再開に向けた方法の検討を進めている。

5 学生支援		評価
2 1	5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
2 2	5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
2 3	5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり有効に機能しているか	A
2 4	5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	A
2 5	5-5 保護者と適切に連携しているか	A
2 6	5-6 卒業生への支援体制はあるか	B

《現状・具体的な取り組み／課題》

進学・就職指導として、担任面談や進路調査を通じた早期把握を行うとともに、学内外での説明会実施により支援体制を整えている。また、常勤の進路担当者3名を配置し、進学・就職に関する情報提供にとどまらず、個々の学生の進捗状況の把握やエントリー、出願、試験等に向けた指導を継続的に行っている。さらに、進路担当者と担任をはじめとする教職員間で情報を共有するシステムを構築・活用し、学生一人ひとりの状況に応じた支援に努めている。学生相談については、担任・事務局・心理カウンセラーが連携して対応し、メンタルヘルス支援の充実に努めている。健康管理や事故対応についても、必要に応じて医療機関や保護者と連携しながら対応している。生活支援については、民間寮の紹介を行うとともに、必要に応じて寮長等と連携し、緊急時の連絡体制を整えている。また、寮外学生についても生活相談に対応している。保護者とは、出席・学習状況に応じて適宜連絡を行い、協力体制を築いている。卒業生についても進路相談等に随時対応しているが、追跡調査や支援内容の体系化については今後の課題である。

6 在留管理と生活指導		評価
-------------	--	----

27	6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	A
28	6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	A
29	6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	A
30	6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	A

《現状・具体的な取り組み／課題》

入学時オリエンテーションをはじめ、必要に応じて在留管理および生活指導を実施している。在留カード確認、住所届出、資格外活動許可の説明等を行い、適正な在留管理に努めている。また、日本社会で安心して生活できるよう、生活ルールや地域マナー、ゴミ出し、公共交通機関の利用方法等について指導し、トラブル防止に取り組んでいる。法令遵守についても、資格外活動時間やアルバイト規則、交通ルール等を説明し、継続的な注意喚起を行っている。

学生情報については、在留カード情報、住所、連絡先、アルバイト先等の最新情報把握に努めている。一方で、情報把握にタイムラグが生じる場合や、交通ルール等の法令理解に個人差が見られる点が課題であり、今後も分かりやすい指導の充実を図っていく。

7	学生の募集と受け入れ	評価
31	7-1 学生の受入方針は定められているか	A
32	7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	A
33	7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A
34	7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	A
35	7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	A

《現状・具体的な取り組み／課題》

開校以来一貫した学生受入方針を維持しており、その継続性が教育活動の安定と質の確保につながっている。学生募集活動は、適正な手続きと情報提供に基づき実施しており、教育成果についても誇張なく正確に伝えている。入学選考は、明確に定めた基準に基づき公平に行われ、学習歴・日本語力・学習目的等を総合的に判断している。定員管理についても適正に運用されており、在籍者数は基準内で推移している。これらの取り組みを通じ、受入方針が一貫して変わらず維持されていることが、本校の教育活動の信頼性と安定性を支える強みとなっている。

8	財務	評価
36	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
37	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
38	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	A
39	8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	A

《現状・具体的な取り組み／課題》

本校の財務基盤は安定しており、継続的な学校運営が可能な状態を維持している。予算および収支計画は、学生数の動向や事業計画に基づき、妥当かつ現実的に策定している。また、会計監査を適正に実施し、財務処理の透明性確保に努めている。さらに、専門学校として財務情報を毎年公開しており、情報公開体制も整備されている。

9	法令等の遵守	評価
40	9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
41	9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
42	9-3 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	A
43	9-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	C
44	9-5 自己点検・自己評価結果を公開しているか	A

《現状・具体的な取り組み／課題》

法令および設置基準に基づく適正な運営を行っており、個人情報保護についても必要な管理体制を整備している。関係省庁への定期報告についても、適切に実施している。また、自己点検・自己評価を毎年実施し、学校運営の改善に努めている。自己点検結果については公開を行い、運営の透明性確保に取り組んでいる。一方で、自己点検・自己評価については、現在は一部担当者を中心に実施しているため、今後はより組織的な実施体制の整備を進めていくことが課題である。

10 社会貢献	評価
45 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	B
46 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	C

《現状・具体的な取り組み／課題》

本校では、地域社会との連携を図る取組として、地域の小学校との国際交流活動を実施している。留学生が母国の文化や習慣を紹介する機会を設けることで、児童の国際理解の促進と学生の異文化交流能力の向上に寄与している。

一方で、地域行事やボランティア活動に関する情報収集および提供体制については十分とはいえ、学生が地域社会と関わる機会は限定的である。

今後は、地域団体や自治体との連携を強化するとともに、地域行事やボランティア活動に関する情報収集・提供体制を整備し、学生が地域社会に積極的に参加できる機会の充実を図っていく。

## 総括

教育理念に基づき、教育活動・学生支援・在留管理・学校運営等について継続的な改善に努めている。教育課程や進路指導、生活指導については、学生の多様なニーズに対応しながら、適切な運営を行っている。また、法令遵守や財務管理についても、必要な体制を整備し、安定した学校運営を維持している。

一方で、自己点検・自己評価の組織的な実施体制の強化、地域連携や社会貢献活動の充実、学生情報把握の迅速化など、今後改善すべき課題も認識している。

今後も、教育の質向上と適正な学校運営に継続して取り組み、学生が安心して学習・生活できる教育環境の整備に努めていく。